

1137. L_2 -space = 於ケル解析函数ニツイテ

霜田 伊左衛 (改大)

複素 L_2 -space E , 領域 D デ定義セラレ, 複素 L_2 -space E' = 於ケル値ヲトル函数 $f(x)$ ハ

1) D = 於テ連続 (normal, 意味ナ)

2) D , 任意 x, E = 於ケル任意 y = 對シ, δ テ
複素數トスレバ

$$\lim_{\delta \rightarrow 0} \frac{f(y + \delta x) - f(y)}{\delta}$$

が存在スル。乃チ *gateau*, 意味テ微分可能
ナルトキ $f(x)$ ハ D デ正則ナルトイヒマス。條件2) ハ或
ハ δ = ツイテ 0 点ノ近傍デ正則ナルト言ヒカヘテモヨク

シイデセウ。

$$\text{今 } x = (x_1, x_2, x_3, \dots)$$

$$f(x) = (f_1(x), f_2(x), f_3(x), \dots)$$

($x_n, f_n(x)$ ($n = 1, 2, \dots$)ハ複素数)トオキ
マスト $f(x)$ ノ正則性ニツイテ次ノ定理ガ成立シマ
ス。

[定理] $f(x)$ ガ D デ正則ナルタメノ必要十分条件ハ

- 1) $f(x)$ ハ D デ *strongly* = 連続
- 2) $f_n(x + \alpha y)$ ガ α ニツイテ正則
($n = 1, 2, 3, \dots$)

[証明] 条件 1)ハ共有シテキマスカラ条件 2)ニツイテ
考ヘマス。必要條件ニツイテハ、 $f(x)$ ノ各成分ヲ考
ヘマスト $f_n(x + \alpha y)$ ハ α ノ適當ニ近傍(スベテノ
 $f_n(x + \alpha y)$ ニ共通)デ α ニツイテ正則トナリマス
トハ明ラカラス。

十分条件ヲ証明スルニアタリマシテ、記述ヲ簡單ニ
スルタメニ $D \ni 0$ 且ツ一般性ヲ失ハズニ $y = 0$ ノ場合
ヲ考ヘマス。

$f(\alpha x)$ ガ α ニツイテ正則ナルコトヲ証明スルニハ

$$\left(\frac{df_1(\alpha x)}{d\alpha}, \frac{df_2(\alpha x)}{d\alpha}, \frac{df_3(\alpha x)}{d\alpha}, \dots \right)$$

ガ E ノ点トシテ確定スルコトヲ証明スルバ良イコトニナ
リマス。

D を任意に x をとり, これを固定します. 適当な正数 γ をとり $\gamma < r$ とし $\gamma < r$ とし $D = \{z \mid |z-x| \leq \gamma\}$ とし $D \subset D$ かつ compact set ととりまゝ. 之れを G とおきます. $f(z)$ は D に連続だから D で有界をとります.

$$\exists M \text{ が存在し } \|f\| \leq M$$

条件 2) より $f_n(z)$ は $z = \gamma$ 正則だから

$$\frac{df_n(z)}{dz} = \frac{1}{2\pi i} \int_C \frac{f_n(\zeta)}{(\zeta-z)^2} d\zeta \quad (C: |\zeta-x| = r)$$

今正数 ρ ($\rho < r$) を任意にとり $|z-x| \leq r-\rho$ とし

$$\begin{aligned} \left| \frac{df_n(z)}{dz} \right|^2 &\leq \left(\frac{r}{2\pi \rho^2} \int_0^{2\pi} |f_n(re^{i\theta}x)| d\theta \right)^2 \\ &\leq \frac{r^2}{4\pi^2 \rho^4} \int_0^{2\pi} |f_n(re^{i\theta}x)|^2 d\theta \int_0^{2\pi} d\theta \\ &= \frac{r^2}{2\pi \rho^4} \int_0^{2\pi} |f_n(re^{i\theta}x)|^2 d\theta \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore \sum_{n=1}^{\infty} \left| \frac{df_n(z)}{dz} \right|^2 &\leq \frac{r^2}{2\pi \rho^4} \int_0^{2\pi} \left(\sum_{n=1}^{\infty} |f_n(re^{i\theta}x)|^2 \right) d\theta \\ &= \frac{r^2}{2\pi \rho^4} \int_0^{2\pi} \|f(re^{i\theta}x)\|^2 d\theta \\ &\leq \frac{r^2 M^2}{\rho^4} \end{aligned}$$

乃ち $f(z)$ は $z = \gamma$ 正則かつ近傍が正則とす

マス。此ハDノ任意ノ点デスカラコレヲ吾々ノ定理ハ証明
出来タコトニナリマス。

—— (以 上) ——